

1982

年度(昭和五十七年)

第25代理事長
船引廣一

副理事長
石川哲之
渡辺好美
大貫輝
杉浦康昭
専務理事
海野秀昭
事務局長
金子充
総務委員長
高橋健一
広報委員長
長井映
社会開発委員長
青柳進
青少年委員長
柏瀬美明
教育問題委員長
海野博之
経営開発委員長
島田有二
指導力開発委員長
田野雅己
会員開発委員長
須長宏
福祉開発委員長
志賀一夫
事業委員長
堀越義夫
文化財パトロール隊長
日下野隆
マラソン特設委員長
田野雅己
監事
小幡洋次郎
金井邦夫
相場照夫

探そう青年の気概 見つけようJCの心

スローガン

○会員数 98名
○年会費 70,000円

前年度の関東地区会員大会という大きな事業を終えた次の年ということで、この年は、会員の意識の変化を考え、指導力を中心に内部充実を計った。内部においては、特に、例会の出席率の向上に力を入れ、この年新設した事業委員会に年間の半数を担当してもらい他委員会に属さないフリーテーマで例会を企画・設営を行い近年にない出席率を記録した。

対外的には、市制60周年記念事業として鎌倉市との姉妹都市締結問題が一時凍結した時に、鎌倉JCと55年以来鎌倉市の史跡パトロール隊との交流の実績が民間外交の役目を果たした。また、第5回をむかえた足利健康マラソン大会は、1月早々に特設委員会を設け根本的見直しを行ない、ほぼ希望どおりのコースが設定され参加者は650名に上った。



足利JCの主な出来事

- ◆鎌倉市との姉妹都市締結にパトロール隊が民間外交役
- ◆さわやかマラソン大会
- ◆市条例制定の実現
(選挙広報の発行に必要な市条例)
- ◆第2次市民意識調査
- ◆尊氏まつり参加



足利市の主な出来事

- ◆市民文化財団・シルバー人材センターが発足
- ◆鎌倉市と姉妹都市を締結
- ◆新居善太郎氏が名誉市民に
- ◆毛野公民館が完成
- ◆市民プラザ文化ホールが完成
- ◆葉鹿熊野土地区画整理事業が完成



東小学校が伊勢南町に移転



新居善太郎氏が名誉市民に

この年の代表的なニュース

- ◆ホテル・ニュージャパン火災
- ◆日航機、羽田沖墜落
- ◆東北、上越新幹線開通
- ◆500円硬貨発行
- ◆ブレジネフソ連書記長死去
- ☆流行歌
・夢芝居(梅沢富美男)
・北酒場(細川たかし)
・氷雨(佳山明生、日野美歌)
・聖母(マドンナ)たちのララバイ
(岩崎宏美)
・待つわ(あみん)
- ☆流行語
「森林浴」、「なぜだ!」、「カ・イ・カ・ン」